

# 文化庁メディア芸術祭 2月4日から開催!

未来をつなぐーアート、アニメ、映像、ゲーム、ウェブ、マンガなど時代を切り開く作品にあえる

文化庁、国立新美術館、CG-ARTS 協会は「第12回文化庁メディア芸術祭」を2009年2月4日から15日まで国立新美術館（東京・六本木）にて開催します。

テクノロジーやメディアの進化とともに変りゆく“メディア芸術”。アート、アニメ、映像、ゲーム、ウェブ、マンガなど、44ヶ国・地域の2,146作品から選ばれた約170作品を紹介します。時代を切り開く作品を通して、未来へのつながりを体感できるフェスティバルです。

さらにはシンポジウムや上映会を実施するほか、「学生CGコンテスト受賞作品展」、表現のための新技術を紹介する「先端技術ショーケース'09」、海外のメディア芸術の祭典を紹介する「Media Art in the World」、メディア芸術祭のプロモーションビデオを学生が共同制作するワークショップなど、会期を通して多彩なイベントを予定しています。

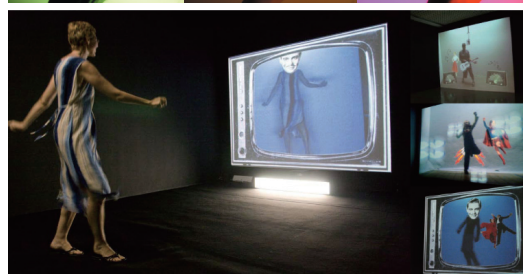
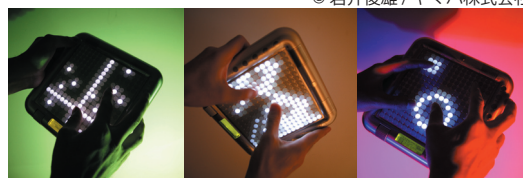
1997年から始まった文化庁メディア芸術祭は、回数を重ねるごとに海外からの応募も増加し、海外では「Japan Media Arts Festival」として知られ、アジアを代表するメディア芸術の祭典に成長しています。

\* 2月3日の15時00分からプレス向け内覧会を予定しております。詳細は別紙をご覧ください。

## [第12回]文化庁メディア芸術祭 開催概要

会期	2009年2月4日(水)～15日(日)(10日(火)休館) 10:00～18:00 金曜は20:00(入館は閉館の30分前)
会場	国立新美術館 企画展示室2E(東京・六本木)
入場料	無料
URL	<a href="http://plaza.bunka.go.jp/">http://plaza.bunka.go.jp/</a>
主催	文化庁メディア芸術祭実行委員会 (文化庁・国立新美術館・CG-ARTS 協会)
お問合せ	CG-ARTS 協会「文化庁メディア芸術祭事務局」 フリーダイヤル0120-454536 <a href="http://plaza.bunka.go.jp/q/">http://plaza.bunka.go.jp/q/</a>

© 岩井俊雄 / ヤマハ株式会社



© Oops!

### メディア芸術祭5つの見どころ

1. アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガなど、時代を代表する作品が集まる。
2. 視覚だけでなく聴覚や触覚など人間の身体性をテーマとしたインタラクティブな作品が体験できる。
3. アメリカ、ヨーロッパ、アジアでの代表的なフェスティバルの優秀作品を通して海外の現状を知ることができる。
4. 会期中に300以上の多彩なジャンルの映像作品が上映され、映像フェスティバルとしても楽しめる。
5. 展示だけでなくシンポジウムやライブ、ワークショップなどを通して、作家や創り手たちにもあえる。

この件に関する問合せ先

CG-ARTS 協会 広報 篠原・千葉 広報分室 友野・安藤(プランデックス・ジャパン) TEL 03-3564-2361  
東京都中央区京橋1-11-2 TEL 03-3535-3501 FAX 03-3562-4840 <http://www.cgarts.or.jp/contact/>

## A1. 文化庁メディア芸術祭 受賞作品展

世界44の国と地域から集まった2,146作品から選ばれたアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの優秀作品、約170点を紹介。部門ごとに受賞作品と審査委員会推薦作品を展示しています。ジャンルの垣根を越えて広がり続ける“メディア芸術”の世界を一堂に体感することのできる貴重な機会です。

### ■アート部門

アート部門は1千作品を超える応募がありエポックメイキングな年となりました。メディアテクノロジーは誰かにメッセージを伝えるためにある。そのことを改めて感じさせる多様なアート作品に出会うことができます。

インタラクティブアート(10作品)／インスタレーション(12作品)／映像(12作品)／静止画(11作品)／Web(8作品)【合計53作品】



©Studio Roosegaarde

### ■エンターテインメント部門

テクノロジーの進歩によって、かつてないほどの変化がエンターテインメント作品にも起こっています。ジャンルの枠組みを乗り越え、おもしろさだけでなく魅力と可能性を持ったエンターテインメント作品を実際に体験することが出来ます。

ゲーム(15作品)／遊具(3作品)／キャラクター(1作品)／映像(13作品)／Web(10作品)／電子楽器(1作品)／展覧会(1作品)／その他(1作品)【合計45作品】



©2007 Nintendo

### ■アニメーション部門

個人制作の短編アニメーションから、劇場公開やテレビシリーズ等の長編アニメーションにいたるまで、さまざまなジャンルのハイレベルなアニメーション作品を上映。絵コンテやシナリオなど制作過程をうかがうことが出来る貴重な資料も展示します。

劇場公開アニメーション(2作品)／TVアニメーション・OVA(13作品)／短編アニメーション(22作品)【合計37作品】

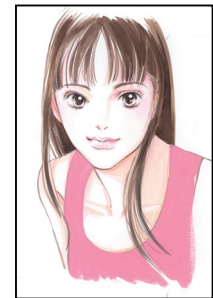


©2008 湯浅政明・マッドハウス / カイバ製作委員会

### ■マンガ部門

大きな曲がり角に来ていると言われるマンガの世界。選ばれた作品は、マンガ文化の底の深さ、スケールの大きさを感じさせるものばかりです。作家直筆の精緻な原画を展示するほか、実際に手にとって作品を読む閲覧コーナーもあります。

ストーリーマンガ(22作品)／コママンガ(1作品)／自主制作マンガ(7作品)／Webマンガ(5作品)【合計35作品】



©横村さとる / 集英社

## A2. 学生CGコンテスト 受賞作品展

若い才能の発掘を目的とした学生CGコンテストは今回で14回目となります。静止画、動画、インタラクティブの3部門に応募があった1,017作品から選ばれた優秀作品を展示。学生ならではの発想と視点で、技術を駆使して新しい世界を創り上げている若い世代のクリエイティビティをご覧ください。表彰式は2月7日(土)11時より国立新美術館講堂にて開催します。

[主催：CG-ARTS協会]

## A3. 先端技術ショーケース '09

先端技術がアートやエンターテインメントとむすびつき、表現の可能性はさらに高まっています。先端技術ショーケース'09では、“NEXT Dimensions”をテーマに、科学と文化の融合を目指す研究者やアーティストの創造的な試みを紹介します。

[主催：文部科学省・独立行政法人科学技術振興機構]

## A4. Media Art in the World

世界で新しく生まれ、成長し続けているメディア芸術の祭典をレポート。アメリカ、ヨーロッパ、アジアでの代表的なフェスティバルを紹介します。世界のフェスティバルを紹介することで、日本のメディア芸術とは何なのかを改めて考え、明らかにしていこうという試みです。

## B1. 文化庁メディア芸術祭 映像作品上映

劇場公開アニメーション、TVアニメ、個人制作による短編アニメーション、VFX、ミュージックビデオ、CM、アート映像など、メディア芸術祭で選ばれた映像作品を一挙に上映します。

- アート部門 映像作品 (12 作品)
- エンターテインメント部門 映像作品 (13 作品)
- アニメーション部門 短編作品 (22 作品)
- 劇場公開アニメーション全編上映 (2 作品)
- TVアニメーション・OVA (13 作品)



©2008 株式会社リンクス・デジワークス



©2008 森 博嗣  
/「スカイ・クロラ」製作委員会

## B2. 学生 CG コンテスト 映像作品上映

コンピュータグラフィックスによる映像だけでなく、手描きやパペットによるアニメーション、独自のプログラミングによる作品など、学生 CG コンテスト動画部門で選ばれた 32 作品を上映します。[主催：CG-ARTS 協会]



© 横田正士

## B3. Media Art in the World [上映とプレゼンテーション]

カンヌ国際映画祭から独立してできた「アヌシー国際アニメーション映画祭」や、今年 30 周年を迎える「アルス・エレクトロニカ」のほか、アジアにおいてもメディア芸術分野の勢いのあるフェスティバルが数多く開催されています。世界から 10 のフェスティバルが集まり、優秀作品を一挙上映します。フェスティバル・ディレクターなどによるプレゼンテーションを行なう特別プログラムもあります。

- アヌシー国際アニメーションフェスティバル（フランス）
- アルス・エレクトロニカ（オーストリア）\*
- オタワ国際アニメーション映画祭（カナダ）
- シーグラフ（アメリカ）\*
- シーグラフ・アジア（シンガポール）\*
- シカフ（韓国）\*
- ソウル国際メディアアートビエンナーレ（韓国）
- 中国国際アニメーション&デジタルアートフェスティバル（中国）\*
- トランスメディアール（ドイツ）
- ファイル（ブラジル）

※「\*」はフェスティバル・ディレクター等によるプレゼンテーションを予定しているプログラムです。

※ 日程は講堂スケジュールをご覧ください。展示会場内特設シアタースケジュールについては、随時 Web サイトにて掲載予定。

# C. シンポジウム

## C1. 「受賞者シンポジウム」

第 12 回文化庁メディア芸術祭の受賞者と審査委員による「受賞者シンポジウム」。

受賞作品が創り出された背景やコンセプト、制作秘話などを紹介するとともに、今年度の芸術祭を部門ごとに総括します。当日先着順にて 250 名までご入場いただけます。入場は無料。



### ■アート部門受賞者シンポジウム

日時：2月6日（金）18：00～19：30

出演：Marcio AMBROSIO（大賞『Oups!』）

田口行弘（優秀賞『Moment - performatives spazieren』）

Alexander MENDELEVICH（優秀賞『OUTSIDE』）

原田大三郎（アート部門主査）

### ■エンターテインメント部門受賞者シンポジウム

日時：2月14日（土）15：00～17：00

出演：岩井俊雄（大賞『TENORI-ON』）

中村勇吾（優秀賞『FONTPARK 2.0』）

田中秀幸（エンターテインメント部門主査）

柘山寛（エンターテインメント部門審査委員）

### ■アニメーション部門受賞者シンポジウム

日時：2月7日（土）13：00～14：30

出演：加藤久仁生（大賞『つみきのいえ』）

木村卓（優秀賞『KUDAN』）

湯浅政明（優秀賞『カイバ』）

鈴木伸一（アニメーション部門主査）

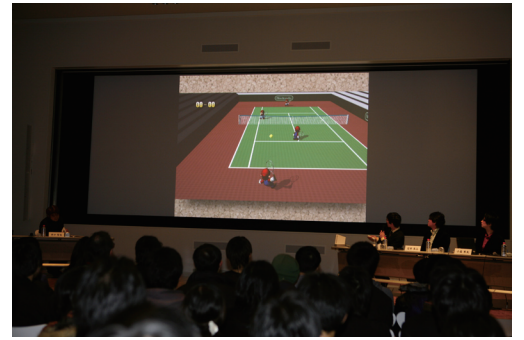
### ■マンガ部門受賞者シンポジウム

日時：2月11日（水・祝）13：30～15：00

出演：さそうあきら（優秀賞『マエストロ』）

ちばてつや（マンガ部門主査）

藤本由香里（マンガ部門審査委員）



昨年のシンポジウムの様子

## C2. 「テーマシンポジウム」

メインテーマは「未来をつなぐ」。変化し続けるメディア芸術を、アーティスト、テクノロジスト、キュレーターらが多様な切り口で語り合います。

### ■写真×ビデオアート×メディア芸術

1960年代から現在に至る映像表現の変遷をみながら、デジタル技術によって大きく変わろうとしている、写真、ビデオアート、メディア芸術の関係と未来への可能性を探ります。

日時：2月6日（金）15：30～17：00

出演：中谷芙二子（アーティスト／功労賞）

濱崎好治（川崎市市民ミュージアム学芸員）

原田大三郎（多摩美術大学教授／アート部門主査）

### ■マンガとアニメの未来

世界に広がった日本のマンガとアニメ。その発展の源泉はどこにあったのか？これからも日本から世界を牽引する作品が生まれ続けるのか？マンガとアニメの未来を探求します。

日時：2月13日（金）14:00～15：30

出演：幾原邦彦（アニメーション監督／アニメーション部門審査委員）

浜野保樹（東京大学大学院教授／メディア芸術祭運営委員） 他

### ■テクノロジーが支える日本のメディアアートの魅力

日本のメディアアートの独自性はどこにあるのか？テクノロジーは魅力あるメディアアートを生み出すのか？日本を代表するメディアアートとテクノロジーの専門家が語り合います。

日時：2月9日（月）16：00～17：30

出演：原島博（東京大学大学院情報学環教授）

岩田洋夫（筑波大学大学院教授）

橋本典久（科学技術振興機構さきがけ研究者）

森山朋絵（東京都現代美術館学芸員）

## D1. 「学生 MV コラボレーション」

今回で5回目となる学生を対象にしたワークショップ。過去4回はアニメーション制作でしたが、今回は装いも新たにミュージックビデオ(MV)制作のワークショップです。参加学生はメディア芸術祭受賞作品展をビデオ撮影し、デジタル編集を行って一本のミュージックビデオに仕上げます。

期 間：2月5日(木)～2月12日(木) \*オリエンテーション、撮影と編集、発表会を予定。

発表会：2月12日(木) 16:30～17:30

講 師：寺井弘典(映像クリエイター)

1961年、鹿児島県生まれ。多摩美術大学卒業後、ビデオアート作品の制作やミュージックビデオ演出を経て、MTV JAPANでオンエア・プロモーション・クリエイティブディレクターに。SIGGRAPH97、文化庁メディア芸術祭優秀賞を相次いで受賞。2001年にはMTV JAPANから独立したP.I.C.S.の立ち上げに参加。以降、数多くのCM、MV、オリジナルムービーなどを手がけている。

\*展示内容や、出演者、スケジュール等は現在計画中のものです。予告なく変更になることもあります。予めご了承ください。

\*最新情報はWebサイト(<http://plaza.bunka.go.jp/>)で更新いたしますので、ご参照ください。

### 贈呈式・祝賀会のご案内

受賞者・審査委員が一堂に会す贈呈式では、受賞者へのインタビューや受賞者全員の記念撮影などを予定しています。その他、祝賀会と内覧会を開催します。取材のお申し込みは別紙にてお願いいたします。

- 贈呈式 2月3日(火) 18:00～19:00 東京ミッドタウン ミッドタウンホールB
- 内覧会 2月3日(火) 16:00～19:00 国立新美術館 企画展示室2E
- 祝賀会 2月3日(火) 19:15～21:00 東京ミッドタウン ミッドタウンホールA

※贈呈式、祝賀会、内覧会はお招待者のみ

#### プレス向け内覧会および説明会

報道関係者の皆様に上記内覧会の前に作品をご覧いただく時間を設けております。解説を交えた展示会場の簡単なツアーを予定しています。参加希望の方は別紙申込書にてお申し込みください。

- 日時：2月3日(火) 15:00～16:00
- 場所：国立新美術館 企画展示室2E内 シアター
- 受付：企画展示室2E 入り口受付にて 14:45～

# 第12回 文化庁メディア芸術祭 講堂スケジュール

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
2/4 (水)		10:15~11:30 アニメーション部門 カイバ(1話~3話) 上映			13:00~14:30 Media Art in the World アルスエレクトロニカ プレゼンテーションと 作品上映						
2/5 (木)		10:15~11:05 アニメーション部門 劇場版 空の境界 俯瞰風景 上映	11:20~12:35 アニメーション部門 カイバ(4話~6話) 上映		13:30~15:00 Media Art in the World 中国国際アニメーション デジタルフェスティバル プレゼンテーションと 作品上映			16:00~17:30 Media Art in the World シカフ プレゼンテーションと 作品上映			
2/6 (金)		10:15~11:30 アニメーション部門 カイバ(7話~9話) 上映	11:45~13:00 学生CGコンテスト 動画部門作品上映	13:15~14:30 アニメーション部門 カイバ(10話~12話) 上映			15:30~17:00 テーマシンポジウム 写真×ビデオアート ×メディア芸術		18:00~19:30 アート部門 受賞者 シンポジウム (同時通訳)		
2/7 (土)		11:00~12:00 学生CGコンテスト 表彰式		13:00~14:30 アニメーション部門 受賞者 シンポジウム							
2/8 (日)											
2/9 (月)		10:15~12:40 アニメーション部門 短編作品上映			13:30~15:00 Media Art in the World シーグラフ アジア プレゼンテーションと 作品上映		16:00~17:30 テーマシンポジウム テクノロジーが支える 日本のメディアアート				
2/10 (火)	休館日										
2/11 (水・祝)	10:15~11:20 アニメーション部門 ステファンの恩返し 上映	11:35~12:50 アニメーション部門 カイバ(1話~3話) 上映		13:30~15:00 マンガ部門 受賞者 シンポジウム			15:40~17:45 アニメーション部門 スカイクワラ The Sky Crawlers 上映				
2/12 (木)	10:15~11:20 エンターテインメント 部門 映像作品上映	11:35~14:00 アニメーション部門 短編作品上映		14:15~15:30 アニメーション部門 カイバ(4話~6話) 上映			16:30~17:30 学生PV コラボレーション 発表会				
2/13 (金)	10:15~11:30 学生CGコンテスト 動画部門作品上映	11:45~13:00 アート部門 映像作品上映		14:00~15:30 テーマシンポジウム マンガとアニメの未来				17:00~19:30 Media Art in the World シーグラフ プレゼンテーションと 作品上映			
2/14 (土)	10:15~11:15 Media Art in the World アヌシー国際 アニメーション映画祭 作品上映	11:30~12:45 アニメーション部門 カイバ(7話~9話) 上映	12:55~14:00 エンターテインメント 部門 映像作品上映		15:00~17:00 エンターテインメント部門 受賞者 シンポジウム						
2/15 (日)	10:15~11:30 アート部門 映像作品上映	11:45~12:35 アニメーション部門 鯨マーガリョコレット 上映	12:50~14:50 アニメーション部門 ヘルズ エンジェルズ 上映		15:05~16:20 アニメーション部門 カイバ(10話~12話) 上映		16:35~17:35 Media Art in the World アヌシー国際 アニメーション映画祭 作品上映				

●当日取材をご希望される方は、こちらの申込書にてお願いいたします。

申込先 FAX：03-3564-5238

文化庁メディア芸術祭事務局 行

## 第12回 文化庁メディア芸術祭 取材申込書

取材を希望されるものにチェックしてください。

- |  |                    |
|--|--------------------|
| <input type="checkbox"/> 贈呈式・祝賀会（受付開始 17：00～）  | 2月3日（火）18：00～21：00 |
| <input type="checkbox"/> プレス向け内覧会（受付開始 14：45～） | 2月3日（火）15：00～16：00 |
| <input type="checkbox"/> 内覧会                   | 2月3日（火）16：00～19：00 |
| <input type="checkbox"/> 学生CGコンテスト表彰式          | 2月7日（日）11：00～12：00 |

- シンポジウム [ ]  
[ ]

※ご取材になりたいシンポジウム名をお書き下さい。

- その他 [ ]

※会期中の展覧会への取材につきましては、会期時間内の制限はございませんが、事前にご一報いただきますようお願い申し上げます。

■ 御社名

---

■ 媒体名

---

■ 芳名

---

■ ご同伴者名（合計 名）

- 持ち込み機材  スチールカメラ [ ] 台  ビデオカメラ [ ] 台  
 その他 [ ]
- 

■ ご住所

---

■ TEL

---

■ FAX

---

■ 携帯

---

■ E-Mail

---